

2014年4月28日 日本テレビ 定例記者会見**《 要 旨 》****< 発表 >****・世界の果てまでイッテQ！「エベレスト登頂プロジェクト」**

「世界の果てまでイッテQ！『エベレスト登頂プロジェクト』」は、4月18日に起きた雪崩事故で大勢のシェルパが亡くなり、その後の世界各隊の動向を分析・検討した結果、今年のエベレストアタックを断念することを決定した。

世界各国の主要な隊がほとんど引き上げるという状況だと聞いている。エベレスト登山をより安全に進めるには、登山ルートの仕事のために世界の登山隊との連携、協力が必要となり、主要な隊の撤退が増えると、それだけ1つの隊への負担がかなり大きくなり危険度も増すことになる。

総勢16名のイッテQ登山隊は、標高約6,300メートルの別の山で高所順応のためのキャンプ中であつたが、先程、イモトさん本人に登頂断念が伝えられたと聞いている。帰国日や放送日などは未定だが、詳細に関しては番組内で放送する予定である。

この度の現地の状況判断、それを受けての最終的な決断は適切なものだったと考えている。

1. 視聴率動向と編成戦略**・視聴率データ**

4月の月間視聴率で三冠王を獲得することができた。これで昨年の12月から5か月連続の獲得となり、今年の初めからスタートダッシュが成功した。先週の週間視聴率も三冠王を獲得し、3週連続の獲得となった。

また、4月（月間）の「11地区平均世帯視聴率」においても、11地区すべてで当社のネットワーク各社が三冠王を獲得した。月間で11地区すべてが三冠王を獲得したのは、2001年以来の快挙である。

三冠王の獲得には、まず全日の視聴率が重要であるが、この全日が非常に安定してきている。帯番組である「Z I P！」は、4月の月間で昨年よりも大幅にアップし、「ミヤネ屋」

もアップ、「news every.」も1月から放送開始を早めた1部、そして2部に関してアップしている。全日帯の底上げをベースに、ゴールデン、プライムも安定しているということが現在の好調の原因だと考えている。

・4月期ドラマ

水曜ドラマ「花咲舞が黙ってない」は、現時点で、初回視聴率、平均視聴率共に、4月期スタートドラマの中でトップである。

土曜ドラマ「弱くても勝てます～青志先生とへっぽこ高校球児の野望～」は、裏環境の影響などで先週の視聴率が伸びなかったが、今後ドラマの中で監督と選手の様々な奮闘ぶりがさらに描かれていくので、今後の展開を大いに期待している。

両ドラマともPRを強化しており、今後の視聴率アップを狙っている。

2. 営業状況

・放送収入

決算前ではあるが、当社の放送収入は年度全体では昨年を上回り、タイムセールスもスポットセールスも共に前年を上回ることができた。

タイムは、4月の改編に関連したセールスを順調に終えることができた。単発番組では、4月29日から5月6日まで展開する「7days チャレンジTV」のセールスを順調に進めており、7月12日に放送する「THE MUSIC DAY」のセールスも開始している。

4月のスポットは、消費増税の駆け込み需要の反動などにより、当社は前年に届くか届かないかという状況である。

一方で5月はスポンサーの動きがかなり活発であり、地区投下率が100%を超える見込みで、当社も100%を超えるのではないかとと思っている。

・放送外収入

映画は、4月19日から公開している「名探偵コナン 異次元の狙撃手」が、すでに観客動員数100万人を超え、興収収入も16億円を超え、好調である。前作「名探偵コナン 絶海の探偵（プライベート・アイ）」が36億円までいっており、これを超える勢いである。

今後は5月3日から、当社で放送したドラマ「悪夢ちゃん」を映画化した「悪夢ちゃん The

夢ovie」が公開される。北川景子さんやGACKTさんらが出演。

5月30日からは、藤原竜也さん、山田孝之さん、石原さとみさんらが出演の映画「MONSTARZ（モンスターズ）」が公開される。

「悪夢ちゃん The 夢ovie」、 「MONSTARZ（モンスターズ）」は共に日本テレビ幹事作品であり、今年度の動向を占う2本となる。

美術展は、4月19日から、六本木の森アートセンターギャラリーで「こども展 名画にみるこどもと画家の絆」が開催されている。モネ、ルノワール、ルソー、ピカソといった巨匠たちが自分の子どもや身近な子どもを描いた作品が87点、パリのオルセー美術館やオランジュリー美術館の協力を得て展示されている。非常に個性豊かな美術展であり、是非、一度会場に足を運んでいただきたい。

また、今年で29年目になる「ミュージカル アニー 2014」を、4月26日から青山劇場で開催している。

海外展開では、今年も、アメリカ、カナダに約200万世帯の視聴者を有するスポーツ専門チャンネル「ワンワールドスポーツ」を通じて、巨人軍ホームゲーム72試合を開幕戦から、北米で英語の実況付きで生放送している。日本の選手がアメリカ大リーグで活躍していることで、日本の野球が高い評価を受け、非常に好評なため、2年目である今年も生放送で配信する。

また、4月22日から台湾でも巨人戦の中継をスタートしている。スポーツ専門チャンネルでビデオランドというケーブル放送局を通じて20試合ほど生中継する予定である。

(了)